



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 エスライン

コード番号 9078 URL <http://www.slinc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 嘉彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 村瀬 博三

TEL 058-245-3131

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	19,658	△2.7	39	—	117	49.4	△66	—
24年3月期第2四半期	20,205	0.4	1	△98.5	78	△59.5	△86	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △93百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △48百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△3.16	—
24年3月期第2四半期	△4.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
25年3月期第2四半期	27,295		14,815		52.0	
24年3月期	28,115		15,015		51.2	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 14,184百万円 24年3月期 14,395百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	5.00	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	△0.9	360	24.2	440	3.0	211	△50.1	10.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法を変更しており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	21,753,993 株	24年3月期	21,753,993 株
25年3月期2Q	905,732 株	24年3月期	904,260 株
25年3月期2Q	20,849,453 株	24年3月期2Q	21,104,660 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注記事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
4. 補足情報	10
参考資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などを背景として、設備投資を中心に緩やかな回復の動きが見られるものの、長期化する円高や、欧州経済の減速懸念により、国内経済は依然として先行き不透明な状況のまま推移いたしました。

当社グループの主要な事業であります物流関連業界におきましては、国内貨物の輸送量が前年を若干上回るとの予想があるものの、個人消費の停滞や、同業者間での貨物獲得競争や価格競争の激化など、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、お客様が求められる物流ニーズに的確にお応えするために、グループ各社の得意とする業務分野で機動力を発揮するとともに、担当分野で培った物流ノウハウや施設を当社グループ全体で共有して、より質の高い物流サービスを提供するために、当社グループの総合力を結集して取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益196億58百万円（前年同期比2.7%減）、営業利益39百万円（前年同期は1百万円の営業利益）、経常利益1億17百万円（前年同期比49.4%増）、四半期純損失66百万円（前年同期は86百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[物流関連事業]

物流関連事業の主な事業収益は、貨物自動車運送事業、倉庫業、自動車整備事業、情報処理サービス業、損害保険代理業などであります。

貨物自動車運送事業のうち、当社グループの主力であります特別積合せ部門では、国内貨物の輸送量が伸び悩むなかで、輸送単価の下落や貨物獲得競争がますます激しくなることに加えて、お客様からは物流経費の削減要請などもあり、非常に厳しい状況が続いております。また、家電配送業務においては、新規取先の拡大を図ってまいりましたが、家電製品の配送・セッティング業務全体の需要低下が依然として続いています。

このような状況の中で、営業面では、従来の輸送商品にとどまらず、小中ロット貨物の近距離貸切輸送やインターネット受注による小規模引越、さらには地域を限定した個人宅への新たな輸送など、特積み部門が持つ施設や機能を活かした新たな輸送商品の開発にも取り組んでまいりました。またコスト管理面では、先に導入した経営管理ツール「SKKS（エスライン経営管理システム）」を活用して、人員の適正配置や、配送コースの見直しを行うことにより、作業の効率化を図ると共に経費の削減にも取り組んでまいりました。

この結果、物流関連事業の営業収益は193億13百万円（前年同期比2.8%減）、セグメント利益（営業利益）は2億82百万円（前年同期比16.6%増）となりました。

[不動産関連事業]

不動産関連事業につきましては、エスライングループ各社にて保有している遊休資産の有効活用を図るために、外部への賃貸事業を営んでまいりました。本年6月からは、連結子会社㈱エスラインギフの旧浜松支店の跡地（浜松市森田町）を飲食チェーン店に賃貸を開始いたしました。

この結果、不動産関連事業の営業収益は1億94百万円（前年同期比0.1%減）、セグメント利益（営業利益）は95百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

[その他]

主に、旅客自動車運送事業を営んでおります。岐阜地区の高校や大学の通学バスを中心とした定期運行に加えて、冠婚葬祭時の送迎や学校の長期休暇時のサークル活動、さらには地域グループの行楽などの要請に応え、安全と安心を第一に、引き続き地域に密着した運行を行ってまいります。

この結果、その他の営業収益は1億49百万円（前年同期比8.2%増）、セグメント利益（営業利益）は24百万円（前年同期比2.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の連結資産合計は272億95百万円となり、前連結会計年度比8億19百万円減少しております。この主な要因は受取手形及び営業未収入金の減少によるものであります。

また、連結負債合計は124億80百万円となり、前連結会計年度比6億19百万円減少しております。この主な要因は支払手形及び営業未払金の減少、借入金の減少によるものであります。

連結純資産合計は148億15百万円となり、前連結会計年度比1億99百万円減少しております。この主な要因は四半期純損失と配当金の支払による減少、その他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より1億86百万円資金が増加し19億10百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、10億52百万円の収入（前年同期は6億27百万円の収入）となりました。この主な収入は減価償却費の計上および営業債権の減少であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、5億14百万円の支出（前年同期は3億75百万円の支出）となりました。この主な支出は有形・無形固定資産の取得であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億51百万円の支出（前年同期は7億11百万円の支出）となりました。この主な支出は借入金の返済および配当金の支払であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の経済動向を踏まえ、通期の連結業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表した内容から変更しております。詳細につきましては、本日別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、実際の業績につきましては、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、損益およびセグメント情報に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,927	2,148
受取手形及び営業未収入金	5,503	4,821
貯蔵品	49	49
繰延税金資産	70	70
その他	388	391
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	7,933	7,475
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,263	5,035
機械装置及び運搬具（純額）	1,161	1,090
土地	10,616	10,631
リース資産（純額）	81	89
建設仮勘定	—	80
その他（純額）	90	89
有形固定資産合計	17,213	17,015
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,287	1,232
繰延税金資産	208	210
その他	925	884
貸倒引当金	△24	△25
投資その他の資産合計	2,397	2,301
固定資産合計	20,181	19,820
資産合計	28,115	27,295

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	4,375	4,077
短期借入金	940	920
1年内返済予定の長期借入金	379	361
未払法人税等	130	119
賞与引当金	198	252
役員賞与引当金	7	5
設備関係支払手形	3	8
その他	749	745
流動負債合計	6,783	6,490
固定負債		
長期借入金	431	248
繰延税金負債	1,992	1,912
退職給付引当金	3,007	3,009
役員退職慰労引当金	153	102
資産除去債務	188	189
負ののれん	43	20
その他	498	506
固定負債合計	6,316	5,990
負債合計	13,100	12,480
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,938	1,938
資本剰余金	2,812	2,812
利益剰余金	9,723	9,553
自己株式	△174	△174
株主資本合計	14,301	14,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94	54
その他の包括利益累計額合計	94	54
少数株主持分	619	630
純資産合計	15,015	14,815
負債純資産合計	28,115	27,295

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業収益	20,205	19,658
営業原価	19,406	18,807
営業総利益	799	850
販売費及び一般管理費	797	810
営業利益	1	39
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	20	17
受取賃貸料	14	15
負ののれん償却額	23	23
持分法による投資利益	5	6
その他	29	30
営業外収益合計	92	94
営業外費用		
支払利息	8	6
売上割引	3	2
債権売却損	4	6
その他	0	0
営業外費用合計	15	16
経常利益	78	117
特別利益		
固定資産売却益	22	33
補助金収入	4	17
その他	1	1
特別利益合計	27	52
特別損失		
固定資産除売却損	12	93
減損損失	—	39
投資有価証券評価損	157	3
その他	0	28
特別損失合計	169	166
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△62	3
法人税等	21	56
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△83	△52
少数株主利益	2	13
四半期純損失(△)	△86	△66

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△83	△52
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	△40
その他の包括利益合計	34	△40
四半期包括利益	△48	△93
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△51	△106
少数株主に係る四半期包括利益	2	13

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△62	3
減価償却費	708	640
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	18	2
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△0	△50
賞与引当金の増減額(△は減少)	23	53
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5	△1
受取利息及び受取配当金	△20	△18
支払利息	8	6
持分法による投資損益(△は益)	△5	△6
有形固定資産売却損益(△は益)	△22	△33
有形固定資産除却損	11	93
営業債権の増減額(△は増加)	349	681
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1	△0
営業債務の増減額(△は減少)	△274	△296
その他	64	19
小計	791	1,094
利息及び配当金の受取額	20	18
利息の支払額	△7	△6
法人税等の還付額	45	84
法人税等の支払額	△222	△138
営業活動によるキャッシュ・フロー	627	1,052
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	10	10
定期預金の預入による支出	△56	△44
投資有価証券の売却による収入	0	0
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
有形固定資産の売却による収入	25	37
有形固定資産の取得による支出	△372	△393
無形固定資産の取得による支出	△0	△132
その他	20	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△375	△514
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△260	△20
長期借入金の返済による支出	△262	△200
配当金の支払額	△105	△104
少数株主への配当金の支払額	△2	△1
その他	△81	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△711	△351
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△460	186
現金及び現金同等物の期首残高	2,568	1,724
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,108	1,910

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流関連 事業	不動産関連 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	19,872	194	20,067	138	20,205	—	20,205
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	19,872	194	20,067	138	20,205	—	20,205
セグメント利益	242	92	335	24	359	△357	1

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△357百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社および㈱エスラインギフの総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流関連 事業	不動産関連 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	19,313	194	19,508	149	19,658	—	19,658
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	19,313	194	19,508	149	19,658	—	19,658
セグメント利益	282	95	378	24	402	△362	39

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△362百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社および㈱エスラインギフの総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

平成 25 年 3 月期 第2四半期決算発表 (参考資料)

連結決算

1. 第2四半期業績の推移 (単位:百万円、%)

	23年3月期	24年3月期	25年3月期	
	実績	実績	実績	対前期増減率(%)
連結子会社	22社	22社	21社	
売上高	20,121	20,205	19,658	△ 2.7
営業利益	122	1	39	---
経常利益	194	78	117	49.4
第2四半期純利益	△ 316	△ 86	△ 66	---

過去最高 ~ 売上高・利益

(第2四半期) (単位:百万円)

売上高	24年3月期	20,205	(過去最高)
営業利益	20年3月期	417	
経常利益	20年3月期	478	
第2四半期純利益	19年3月期	292	

2. 通期の業績予想 (単位:百万円、%)

	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	
	実績	実績	実績	予想	対前期増減率(%)
連結子会社	22社	22社	21社	21社	
売上高	38,784	41,348	40,375	40,000	△ 0.9
営業利益	918	618	289	360	24.2
経常利益	1,034	761	427	440	3.0
当期純利益	741	208	422	211	△ 50.1
連単倍率	---	---	---	---	---

(通 期) (単位:百万円)

売上高	23年3月期	41,348
営業利益	4年3月期	1,468
経常利益	4年3月期	1,223
当期純利益	4年3月期	1,801

【第2四半期業績】

- ・売上高は、特に家電配送業務の需要低迷により収入が伸びず、196億58百万円(前年同期比2.7%減)となりました。
- ・営業利益と経常利益は、備車費用や外部委託費を削減したことにより増益となりました。
- ・四半期純利益は、連結子会社㈱エスラインギフ京浜支店の建物の一部を解体することに決定しました。これにより減損損失及び固定資産除売却損を、特別損失として計上しましたので、66百万円の損失となりました。

【通期予想】

国内貨物の輸送量の減少が懸念されることや輸送単価の下落、さらにはお客様からの物流経費の削減要請などもあり、まだ厳しい状況が続くと予測しております。

このような状況下で、特別積合せ部門においては、当社グループ内の輸送貨物を増やすべく発送・到着貨物の増量運動を全社で取り組むほか、自社保有の保管施設と組み合わせての輸送貨物の開拓を進めてまいります。

また、物流サービス部門においては、当社グループが今までに培ってきた物流加工業務から店舗配送までの一連の物流サービスのノウハウと品質が評価されて、新たに、全国展開されている専門店の物流センター業務の運営を開始するなど収入の確保に取り組んでまいります。

また、コスト管理面では、経営管理ツール「SKKS(エスライン経営管理システム)」を活用し、作業実態に即した人員の適正配置や、配送コースの見直しを行うことにより作業の効率化を図るとともに、経費の削減を行い業績確保に取り組んでまいります。

3. 設備投資と減価償却費の状況 (単位:百万円、%)

	24年 3月期		25年 3月期			
	通期実績	対前期増減率(%)	第2四半期実績	対前期増減率(%)	通期予想	対前期増減率(%)
設備投資	1,626	62.7	416	13.6	989	△ 39.2
減価償却	1,391	△ 8.4	640	△ 9.7	1,237	△ 11.1

※主な設備投資の状況
車両購入

以 上